

平成28年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課

担当名：障害者芸術・文化担当

内線：3312

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B74	パラリンピック障害者アート 文化プログラム事業			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者芸術・文化活動推進費	
事業期間	平成28年度～平成32年度	根拠法令	障害者基本法第25条			戦略項目	06 時代に応え未来を拓く人材育成		
					分野施策	050101 文化芸術の振興			
<p>1 事業の概要</p> <p>オリンピック・パラリンピックの機運を醸成し、パラリンピックレガシーとして障害者に対する「心のバリアフリー」を浸透していくため、障害者アートフェスティバルの実績を活かし、発展させたイベントを開催する。</p> <p>(1) パラリンピック障害者アート 文化プログラム 7,152千円</p> <p>ア 舞台芸術部門 7,152千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 オリンピック・パラリンピックレガシーに繋がるよう県内の優れたアーティストやその作品を効果的に発信する。 7,152千円</p> <p>(2) 事業計画 庁内文化担当各課と連携を図りながら、本県の文化プログラムとしてふさわしい障害者アートイベントを開催していく。 初年度は舞台芸術部門から「文化プログラムのキックオフイベント」の一環として近藤良平プロデュース障害者ダンスチーム「ハンドルズ」の公演を行う。</p> <p>(3) 事業効果 県の先進的な障害者アートの取組を文化プログラムの一環として発信することにより、障害者アートへの注目が集まり、それを契機として障害者への理解が深まり、「心のバリアフリー」(=パラリンピックレガシー)が浸透する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 文化振興課で行う五輪文化プログラム事業「キックオフイベント&セレモニー」と連携して実施。</p> <p>(5) その他</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.6人=5,700千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	7,152							7,152	7,152
前年額									